

第43回広島県緑の少年団

交流会

開催概要

・主旨：県内の緑の少年団が一堂に会し、自然に親しみながら、相互の研さん、交流と親睦を図るとともに、自律・友愛・協同・奉仕の心を養うため、交流会を開催した。

・日時：令和7年8月8日（金）
10時40分～15時30分

・場所：広島市青少年野外活動センター（安佐北区安佐町小河内）
主催：広島県緑の少年団連盟
参加団体：5団体
可部南グリーンズ緑の少年団
庄野緑の少年団
本郷西小緑の少年団
切串緑の少年団
筒賀小学校緑の少年団
参加者数：団員・指導者計71名



午前中は、森林環境学習として、森林インストラクターであり樹木医でもある長井先生の指導による樹木の観察会を行いました。

各個人ばらばらに分かれ樹木の特徴を学ぶために、それぞれ樹木に設置された問題に答える形で樹木を観察していきました。一通り設問に対する回答を作成後に、全員で現地を回りながら、長井先生の説明を受けていきました。また途中雨が降り始めたために屋内での説明に切り替えを行いました。

子供たちの感想としては、
○とても難しい。
○時間が足りない。
○探るのが難しい。
があり、次回へ向けての課題や豊富につなげることができました。



クラフト教室

小刀を使って竹を削り、竹でブンブンこまを作る活動です。

小刀を使った創作活動を通じて、創作する楽しさや充実感、手作りの作品を完成させる達成感を味わうとともに、友達の頑張る姿や作品を見ることで友達の良さを知ることが目的としています。

まずは指導者の事前説明を聞いた後にそれぞれグループで制作活動をしました。

また穴を空ける作業では得意な子が率先して作業をするなどそれぞれグループによって役割を決めてブンブンこまを作っていました。完成したあとは、実際に動かして達成感に浸る子もいました。

最後は削りかす等の始末・掃き掃除を全員で行いました。



農業体験

作物の収穫を中心とした農業体験を行う活動です。

作物の収穫等の農業体験を通じて、農業の喜びを味わうとともに、大変さや課題に触れ、農業に対する理解を深めることを目的としています。

当日は、ブルーベリーを食べた後に、ミニトマトの収穫を体験しました。

ブルーベリーでは制限時間を設けて食べ放題を実施しました。ブルーベリーには、すっぱい味と甘い味があり、その味の違いについて理解している子もいました。

ブルーベリーの食べ放題などは普段体験することがあまりないため子供たちはすごく喜んでブルーベリーを食べていました。

トマトは決められた区画内での収穫を行いました。写真のとおりミニトマトです。が実一つ一つが大きく、袋いっぱい収穫を行った子もいました。収穫したトマトは家族で食べるという子も居て農業の喜びをぜひ家族の皆さんに伝えていただければと思います。

ブルーベリー食べ放題



トマトの収穫

